

ケ ア サ ー ビ ス 便 り

2012.4.1~2013.3.31

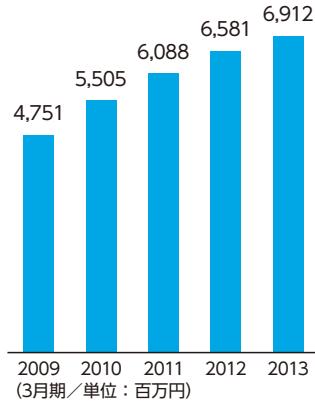
Letters from Care Service Co.,Ltd.



業績ハイライト

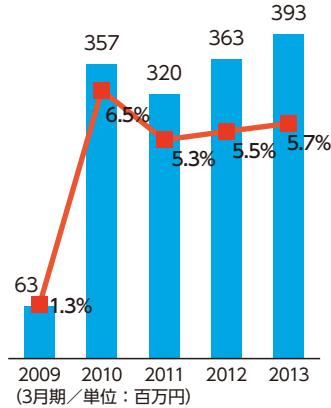
●売上高

69億12百万円
前期比 5.0%増



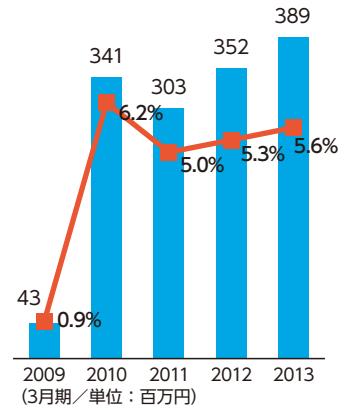
●営業利益

3億93百万円
前期比 8.4%増



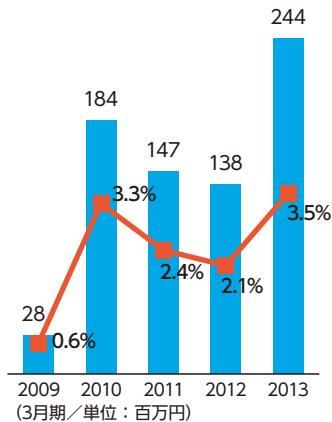
●経常利益

3億89百万円
前期比 10.5%増

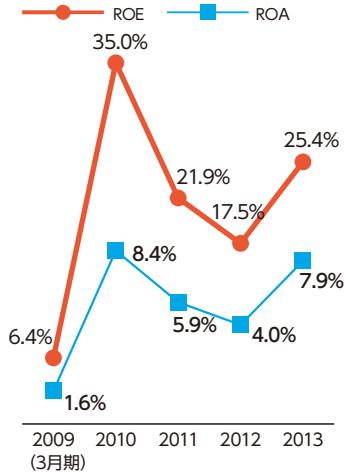


●当期純利益

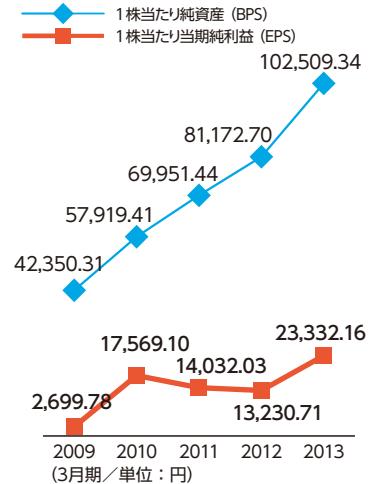
2億44百万円
前期比 76.3%増



●自己資本利益率 (ROE) 総資本利益率 (ROA)



●1株当たり当期純利益 (EPS) 1株当たり純資産 (BPS)





事業内容と業績概要

●介護事業

デイサービス、訪問入浴、訪問介護、居宅介護支援、福祉用具貸与等のサービスを提供する介護事業では、主力のデイサービスにおいて、新潟市での1事業所を含めた2事業所と認知症対応型1事業所の新設、効率的店舗運営のための2事業所の統合と2事業所の移転を行いました。訪問入浴では2事業所を新設、居宅介護支援では新潟市での1事業所を含め3事業所を新設しました。この結果、同事業の売上高は前期比4.0%増の50億63百万円、セグメント利益は同1.1%増の5億31百万円となりました。

●エンゼルケア事業

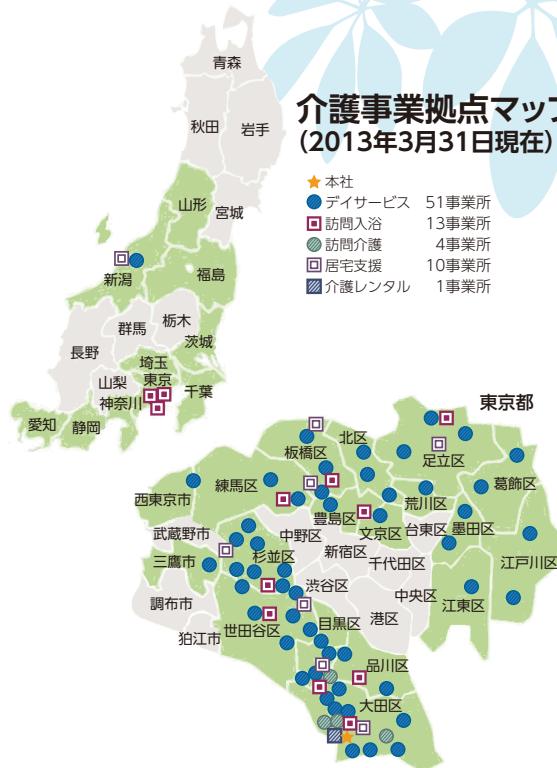
新潟、東京、千葉、神奈川地域を中心に、冠婚葬祭の互助会や葬儀社と契約し、湯灌サービス等を行うエンゼルケア事業では、2事業所を新設し18事業所となりました。売上高は、前期比6.6%増の14億82百万円、利益は同1.3%増の4億9百万円となりました。

●サービス付き高齢者向け住宅事業

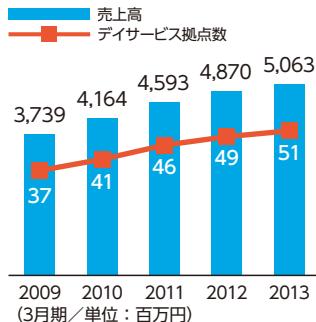
埼玉県で3事業所を展開するサービス付き高齢者向け住宅事業では、24時間対応の強化など、サービスの質向上に取り組みました。売上高は前期比14.2%増の3億66百万円となりましたが、フォーライフ大宮公園第2開設に伴う先行投資により、利益は同32.3%減の48百万円となりました。

※各セグメント利益は、全社費用配賦前の営業利益でございます。

介護事業拠点マップ (2013年3月31日現在)



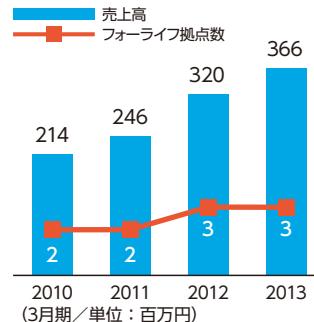
介護事業



エンゼルケア事業



サービス付き高齢者向け住宅事業



【企業理念】

- 私たちは、お客様一人ひとりの尊厳に共感したサービスを提供します
- 私たちは、全従業員とその家族の幸せを追求します



代表取締役社長 福原敏雄

ケアサービスは、その大切にすべき考え方や目指すべき姿の基本原則である『ケアサービス フィロソフィ』を刷新いたしました。その根幹となる姿勢は「家族の絆を大切にすること」。

新たな基本原則に込めた想い、その実現に向けての取り組みについて、代表取締役社長の福原敏雄に聞きました。

Message1 ケアサービスの生いたち

～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～

1970（昭和45）年、私は、寝たきり高齢者のふとん消毒乾燥を行うケアサービスの前身、サンセルフ福原を創業し、1997（平成9）年の介護保険法施行以前より、訪問入浴などの介護事業に従事してまいりました。当時、訪問入浴のお客様の入浴回数は20日に1度ほど。お客様は身体からふとんまでひどく汚れている状態で、そのまま亡くなられる故人様も多くいらっしゃいました。その現状を目の当たりにした私は、故人様の尊厳、家族の絆、親への感謝などについて深く考えさせられ、その結果、たどり着いたのが、故人様の湯灌、着付け、お化粧を行う、『介護の到達点』とも言うべきエンゼルケアサービスでした。

以来、現在に至るまで、介護のお客様には、いつまでも元気に心豊かな人生を送っていただきたいという想いのこもったサービスを、エンゼルケアのご葬家様には、故人様をなくされた悲しみを少しでも軽減できるよう、心のこもった感動の旅立ちのお手伝いを心がけてまいりました。そういった歩みの中で、「死を見つめ、人とのつながりを感じながら生きていくこと」を大切にし、『心豊かな人生を、そして

感動の旅立ち』と私たちのサービスを定義した当社は、人生を最後まで自分で決められるよう、介護サービスの選択から生前準備、そして天国への旅立ちまでの全体的なお手伝いをするをケアサービスの使命と位置付けるに至りました。

Message2 ケアサービスの今

～家族の絆を大切に～

私たちの社会は、一つひとつの家族の集合体です。当社の従業員に家族がいるように、当社のお客様にもご家族がいらっしゃいます。ご家族それぞれの人生の尊厳に共感し、サービスだけでなく、少しでも多くの心遣いをお客様とご家族にお届けしたい—これが、ケアサービスの求めるお客様満足です。

このお客様満足を実現するため、第一に、当社の従業員が仕事に打ち込める環境を整備したいと考えています。将来にわたり家族を養うに足る十分な生活設計、働きながら成長できる、誇りをもって働ける職場環境、これらが高めることが、従業員とその

家族の幸せにつながり、最終的にはそれがケアサービスのお客様とご家族の心の満足につながると考えます。このふたつを支えるのが「家族の絆」です。

「家族の絆を大切に」会社になるため、当社では、従業員の年収の引き上げ施策に着手したほか、昨年の冬から従業員の賞与を引き上げました。また、リーダーシップを醸成し、「生きがいのある仕組み」「チャレンジできる仕組み」づくりに向け、新たな人事評価制度導入の準備にも取り組んでおります。

これらの施策は、短期的には経費増になりますが、本格的な超高齢化社会の到来に備え、一人ひとりの力を高める重要な投資として、戦略的に強化しております。

Message3 ケアサービスのこれから

～介護からエンゼルケアまで～

介護サービスを福祉と捉える見方がありますが、当社の事業はサービス業です。お客様とご家族に、より良いサービスを提供し続けるためにも、事



ケアサービスのあるべき姿を支える『ケアサービス フィロソフィ』



業の収益性は重要な要素です。当社は、40年以上も介護サービスに携わってきました。戦略的に東京23区を主要エリアとしてきましたが、2012年度の介護報酬改正においても東京23区の報酬単価が上がるなど、全国展開している同業他社に比べ、東京都ドミナント戦略の効果は出ていると思います。

ところが、ここに来て、大手異業種企業の参入が始まるなど、市場構造が大きく変わりつつあります。当社はこれまで、民間介護市場のパイオニアとして、恵まれた環境で事業展開してまいりました。当社は、これまで組織的というより、属人的な力に支えられてきたかもしれません。一方、市場参入を図る異業種企業には、しっかりした仕組みに基づくオペレーションが見られます。このような変化への対応として、現在、サービスの提供方法の大幅な見直しを行っております。

さらに、「介護からエンゼルケア」までの事業基盤

を持つ当社が優位性を発揮できる事業領域の強化を推進しております。超高齢化社会が本格化すると、自立した生活をサポートする専門性ある在宅支援へのニーズが高まります。このため、今後は機能訓練に特化したリハビリ対応型（身体的訓練）、認知症対応型（脳的訓練）の在宅支援がより重要になります。特に、居住型施設の不足が顕在化してくる東京23区においては、この傾向がより顕著になると予想されます。また、看取り介護など、ご家族との連携が必要な、真の介護領域でのニーズも拡大してまいります。

拡大するこれらニーズに対し、当社は、介護事業の垣根を越えて、人生の終焉まで寄り添うライフエンディング産業の担い手となるべく、新規事業開拓を推進しております。投資家・株主の皆様におかれましては、当社の成長を末永くご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

次期業績予想のポイント

次期は、デイサービス事業所6か所の新規出店を行うとともに、介護保険法の次回改正に向けた対応や法令遵守のための体制整備などの投資を積極化いたします。また、全従業員とその家族の幸せを願い、働く従業員の生活力向上を目指した年収引上げを引き続き図っております。

以上の結果、売上高は前期比8.2%の増加となるものの、利益は減少を予想しております。

●2014年3月期 業績予想概要

	13/3月期		14/3月期		前期比
	実績	構成比	予想	構成比	
売上高	6,912	100.0%	7,480	100.0%	8.2%
営業利益	393	5.7%	317	4.2%	-19.4%
経常利益	389	5.6%	307	4.1%	-21.1%
当期純利益	244	3.5%	175	2.3%	-28.5%
1株当たり情報（単位：円）					
当期純利益（EPS）	23,332.16		83.43		
年間配当金（DPS）	2,000.00		10.50		

*14/3月期のEPS予想は、7月1日実施予定の1:200株分割を前提にしております。

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

	当 期 (2013年3月31日現在)	前 期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,376,584	2,121,299
固定資産	742,137	769,990
有形固定資産	357,080	360,781
無形固定資産	52,741	76,675
投資その他の資産	332,314	332,533
資産合計	3,118,721	2,891,289
負債の部		
流動負債	1,554,916	1,520,903
固定負債	487,456	518,073
負債合計	2,042,373	2,038,976
株主資本	1,076,400	852,412
評価・換算差額等	△52	△ 99
純資産合計	1,076,348	852,313
負債純資産合計	3,118,721	2,891,289

● 配当金と配当性向の推移



損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

	当 期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	前 期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)
売上高	6,912,441	6,581,193
売上原価	5,777,324	5,385,319
売上総利益	1,135,117	1,195,873
販売費及び一般管理費	741,573	832,846
営業利益	393,543	363,026
営業外収益	17,047	7,295
営業外費用	21,181	17,799
経常利益	389,409	352,522
特別利益	59,950	—
特別損失	17,626	65,008
税引前当期純利益	431,733	287,514
法人税、住民税及び事業税	213,092	171,558
法人税等調整額	△26,346	△ 22,966
法人税等合計	186,745	148,591
当期純利益	244,987	138,922

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

	当 期 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	前 期 (2011年4月1日～ 2012年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	446,473	588,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,242	△ 127,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,905	△ 132,453
現金及び現金同等物の増減額	165,325	327,686
現金及び現金同等物の期首残高	1,000,045	672,358
現金及び現金同等物の期末残高	1,165,371	1,000,045



優れた人間性を持つ従業員の育成を目指して、 人事制度の改革を行います。

ケアサービスにとって、一緒に働く従業員は何よりも大切にならなければならない資産です。お客様に質の高いサービスを提供するには、優れた人間性を持つ従業員が必要であると考えます。

そこで当社では優秀な従業員の育成のために、人事制度改革を一層推し進めてまいります。2012年4月に制定された『ケアサービス フィロソフィ』に基づき、正しい人間性や道徳観を軸とした新しい人事評価制度の導入を図ってまいります。

賃金制度につきましては、従業員の生活力向上に向けた年収の向上を実行しております。また福利厚生面では、2013年3月に導入した従業員支援プログラム（EAP）の利用を従業員に推奨し、従業員の心身両面の健康管理を実施しております。引き続き、優れた能力や資質を持つ従業員の定着を高めることで、サービスの品質向上を図ってまいります。

Voice1

長男誕生で育児休暇を取得しました。

昨年春に誕生した長男のために、育児休暇を取得しました。妻のそばにいたかったというのと、自分自身の性格を考えると仕事と育児の両立が難しいので、育児に集中したいと思い、会社をお願いしました。嬉しかったのは、日々デイサービスに通ってくださるご利用者やケアマネジャーの方々へ、自分が育児休暇を取ることをお伝えしたら、「いい会社ですね」と非常に喜んでくださったことです。育児休暇の間をサポートしてくださった皆様には、大変感謝しています。ケアサービスの企業理念には、「全従業員とその家族の幸せの追求」が記されています。今後とも従業員と家族を大切にする会社であってほしいですし、自分自身もそのお手伝いをしたいと思います。



デイサービスセンター東矢口
所長 星達也

核家族化が進む現代、サービス業には「大家族の心」が必要と訴える福原社長。ケアサービスが大切にする「家族の絆」について、親子でケアサービスに勤務する高橋和美さん、亜沙美さんと福原社長が語り合いました。

高橋（母）：入社したのは12年前、2人目の娘の出産を契機に、ヘルパー2級を取得できるということで入社しました。当時は会社の規模も小さく、周りは家庭的で温かみのある方ばかり。そこから気付いたらケアサービス一筋でここまで来ていました。

福原：私は戦争で父を亡くし、小さい頃から働く母親の背中を見て育ちました。ですから、母親は本当にすごいと思っています。自分を犠牲にして子供を育てる。これは「家族」の心そのものです。介護従事者に女性が多いのは、他人であるお客様に対しても、女性の母性、「家族」の思いを届けられるからだと思えます。

高橋（母）：私は訪問介護担当ですが、独居のお客様が増えていることから、24時間、お客様に気持ちの向かいがちです。思う気持ちは、自分の家族に対してよりも強い。ただ、思いが強い分、現場で悩むことも多いんです。ですから、「チームは家族だよ」と、チームのみんなとはオープンに言い合っています。心あるサービスを提供するには、ためないことが一番です。

高橋（娘）：私は、授業でヘルパー2級を取得できる高校を出たので、ケアサービスには自然な形で入社し、7年が経ちました。現在、デイサービスの現場で生活相談員をしています。自分がおばあちゃん子だったので、お客様には自分の祖父母に対する感謝のような思いで接していますが、お客様は孫のよ



娘: デイサービスセンター目黒中町
生活相談員
高橋亜沙美

母: 訪問介護蒲田
サービス提供責任者
高橋和美

代表取締役社長
福原敏雄

うに感じていらっしゃるようです。頑張るだけお客様の声が返ってくる。そんなやりがいのある仕事です。覚えることはたくさんありますので、会社の研修などを利用して、学ぶ場を積極的に持ちたいと思っています。

福原：核家族化が進む今こそ求められているのは、「大家族」がお互いを思いやる心だと思います。介護は資格ありきと思われがちですが、一番大事なのは思いやりの心、人々の成長を望む心をカラダ全体で覚えることです。

高橋（母）：それは私も感じます。入社当時、会社には家庭的な温かみがある一方で、身だしなみや挨拶などの基本的姿勢について、若い世代を厳しく育てる社風がありました。今の『ケアサービス フィロソフィー』の土台ですね。会社の将来に向け、若い人たちを大切に育てるためにも、フィロソフィーの徹底、「家族の絆」の育成はとても大切だと思います。

1 東証IRフェスタ2013に出展しました

2013年2月15、16日、東京国際フォーラムにて開催された「東証IRフェスタ2013」（主催：東京証券取引所）に出展いたしました。企業ブースや会社説明会にて、当社の戦略や市場環境に関する説明を行い、多くの投資家の皆様と直接対話をさせていただくことができました。今後もこのような機会を増やし、IR活動の更なる充実に取り組んでまいります。



2 高齢者参加イベントを応援しています

当社では、毎年夏に開催されている60歳以上のシニア・スローピッチ・ソフトボールの全国大会『日野原重明カップ』（主催：全日本健康スローピッチソフトボール連盟）、様々な世代や心身状況の方々とチームを組んでタスキをつなぐ『ユニバーサル駅伝』（主管：NPO法人ジャパン ユニバーサル・スポーツネットワーク）に協賛しています。今後も引き続き、高齢者が参加するスポーツ・文化イベントを応援してまいります。



3 デイサービスの新規出店および既存店の統廃合を進めています。

当社では、デイサービス（通所介護）の新規出店および既存店の統廃合を進めております。当期は、新潟県新潟市に、東京都以外の地域では初の「デイサービスセンター小新」を開設いたしました。主要エリアとなる東京都では、三鷹市に「デイサービスセンター牟礼」を、杉並区に当社3拠点目の認知症対応型デイサービスとなる「デイサービスセンター浜田山」を新規開設しております。また、既存施設の積極的な再配置・定員増を目的として、3事業所の移転開設を行った結果、2013年3月末において、当社のデイサービス施設は51事業所となりました。今後も引き続き、東京23区を中心としたデイサービスのドミナント戦略による市場の集中と深耕により、サービスの質と収益性の向上を図ってまいります。



当社3拠点目の認知症対応型デイサービスとなる「デイサービスセンター浜田山」



会社概要

会社概要

(2013年3月31日現在)

名 称	株式会社ケアサービス
代 表 者	福原敏雄
本 社	〒144-0054 東京都大田区新蒲田3丁目15番7号 TEL : 03-5713-1611 FAX : 03-5713-1650
創 業	1970 (昭和45) 年10月5日
資 本 金	2億512.5万円

取締役及び監査役の状況

(2013年6月24日現在)

代表取締役社長	福	原	敏	雄
専務取締役	大	瀧	裕	司
常務取締役	富	澤	政	信
取 締 役	小	林	航	太 郎
取 締 役	岩	原		満
監 査 役	藤	好	優	臣
監 査 役	吉	田	由	美 子
監 査 役	石	崎	利	生



フィスコレポート



株式会社フィスコ
コンサルティング事業本部長
中村孝也

2425 ケアサービス

有望な市場および地域で
面を押さえた経営

ケアサービスは、福祉でなくサービス業という観点のもと、介護からエンゼルケアまでを手がけている。唯一の1級地であり、介護料金が最も高い東京23区で強固なドミナント化を推進している。また、介護保険の対象外であるエンゼルケア事業を強化し、介護保険の動向に左右されない体制構築にも注力している。

同社では、従業員への利益配分も重視しており、利益率が劇的に上昇する状況にはない。ただし、ドミナント化は更に拡大余地があることに加え、介護とエンゼルケアをつなぐビジネスを含め、様々なサービスをワンストップで提供することも模索しており、更なる増収余地が想定され、増収に応じた増益の可能性に期待。

2014年3月期は増収減益の予想だが、面を押さえる拠点開設を前倒しで行う先行投資の拡大が要因で、翌期以降の成長加速要因と捉えられる。

有望市場・地域における面を押さえたバランスの良い経営が魅力であると共に、将来的なビジョンである多機能・複合的なワンストップサービス構想が活きてくることが期待される。



株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	28,800株
発行済株式の総数	10,500株
株主数	672名

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほかに臨時に必要な場合には、 あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載 します。公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.care.co.jp/